

第1回6月 阪大本番レベル模試（2018年6月3日実施）

採点基準 英語 外国語学部

I

(A)

【解答】(16点)

日本語では愛に落ちることはできなかったのであり、実際のところ、そのことに気づいていたのは彼女だけではなかった。「love」という単語が翻訳され、日本人がこの単語が含意する感情を発見したのは、この時代だった。

【基準】原則として次の部分に以下の点を配し、誤訳・訳抜けの程度に応じて減点する。

区分	配点
One could not fall in love in Japanese,	2点
which, indeed, she was not the only one to have noticed.	4点
It was at this age that,	4点
with the translation of the word “love,”	2点
the Japanese discovered the sentiment that it implied.	4点

(B)

【解答】(24点)

その会社の大半の調査によって、顧客の間では、より頻繁にスイッチを切ることができるようにと望む気持ちが高まっている、ということが明らかになった。デジタル製品で人々の結びつきを強めるという会社の当初の考えは、それと正反対のことを行っていることがわかったので、その会社は、一定期間意図的に切断することを想定した製品を作ったのだ。

【基準】原則として次の部分に以下の点を配し、誤訳・訳抜けの程度に応じて減点する。

区分	配点
Much of its research showed a growing desire	3点
among customers to be able to switch off more often.	4点
The company’s initial idea	2点
of bringing people closer to each other with digital products	5点
turned out to do the opposite	3点
so it created something	3点
to allow for periods of voluntary disconnection.	4点

II

設問(1)

【設問】

下線部①の内容を日本語で具体的に説明しなさい。

【下線部】

① This kind of engineering is no different than damming a river.

(①この種の操作は、川にダムを作ることとまったく同じである)

【解答例】 (12点)

人間が暗闇でも行動できるよう、夜を照明の光で満たすこと。

【該当箇所】

We've engineered it (=night) to receive us by filling it (=night) with light.

「私たちは、夜を光で満たすことによって、夜が私たちを受け入れるように巧みに処理した」

以下の必須項目に相当する内容に配分の得点を与える。 部分的に難がある場合は1箇所につき適宜-2点とする。 余分な事柄が入っていても原則無視するが、解答を損ねる場合は適宜-2点。		
必須項目	配点	該当箇所
「私たち [人間] は夜 [暗闇] を変えた」 「私たち [人間] は夜に活動可能になった」 などに相当する内容があれば認める。	6点	We've engineered it (=night) to receive us (夜が私たちを受け入れるように巧みに処理した)
「夜 [暗闇] を明かりで満たす」 に相当する内容があれば認める。	6点	by filling it (=night) with light. (私たちは、夜を光で満たすことによって)
※文末は不問。 ※軽微な 誤字・脱字は1つ-1点。		

設問(2)**【設問】**

下線部②の「光害」に対する認識は時代とともにどのように変遷してきたか、日本語でわかりやすく説明しなさい。

【下線部】

For most of human history, the phrase ②“light pollution” would have made no sense.

(人類史上の大半において、②「光害」という言葉は意味を持たなかったであろう)

【解答例】 (12点)

19世紀後半までは「光害」という言葉が意味を持つ状況は存在せず、光害は20世紀初頭に初めて指摘されたが、その悪影響が広く知られるようになったのはわずか30年前である。

以下の必須項目に相当する内容に配分の得点を与える。 部分的に難がある場合は1箇所につき適宜-2点とする。 余分な事柄が入っていても原則無視するが、解答を損ねる場合は適宜-2点。		
該当箇所	配点	必須項目
①19世紀(後半[終わり])(まで) / 1800年ごろ 光害(という概念)はなかった。	4点	・年代(19世紀(後半)/1800年代/1800年ごろ)を明示していないものは-2点。 ・年代だけでは得点を与えない。
②20世紀初頭/20世紀になってから 光害(という概念)が生まれる。	4点	・年代(20世紀(初頭))を明示していないものは-2点。 ・年代だけでは得点を与えない。
③30年前 光害が広く認知される。	4点	・年代(30年前)を明示していないものは-2点。 ・年代だけでは得点を与えない。
※軽微な誤字・脱字は1つ-1点。		

設問(3)

下線部③の意味を日本語で表しなさい。

【下線部】

We've grown so used to this pervasive light that the original glory of an unlit night—dark enough for the planet Venus to throw shadows on Earth—is wholly beyond our experience, beyond memory almost. And yet above the city's pale ceiling lies the whole universe, utterly undiminished by the light we waste—stars, planets, and galaxies, shining in seemingly infinite darkness.

【解答例】 (20点)

私たちはこのような辺り一面に広がる明かりに慣れきってしまっているので、照明がない夜（惑星である金星によって地球に影ができるほど暗い）の本来の美しさは、まったく経験できないし、ほとんど記憶にもない。それでも都市の青白い天井の上には、私たちが無駄にしている光の影響を何ら受けない全宇宙が存在しているのだ。

必須項目	配点	備考
We've grown so used ... that 私たちは慣れきってしまっている	4点	*so ~ that ... の因果表現がわかっていないものはこの区分—4点。 ・単語レベルの誤りは1つ—1点。
to this pervasive light このような辺り一面に広がる明かりに		
the original glory (... is) 本来の美しさは、	1点	
of an unlit night 照明がない夜の	1点	
wholly beyond our experience まったく経験できない	1点	
beyond memory almost ほとんど記憶にない	1点	
—dark enough for the planet Venus 惑星である金星が（～するほど）暗い	4点	*enough for A to ~ の構造がわかっていないものはこの区分—4点。 ・単語レベルの誤りは1つ—1点。
to throw shadows on Earth— 地球[地上]に影を投げかけるほど		
And yet それでも	1点	「まだ/もう」は不可。
above the city's pale ceiling 都市の青白い天井の上には	4点	*MVS の倒置がわかっていないものはこの区分—4点。 ・単語レベルの誤りは1つ—1点。
lies 存在している		

the whole universe 全宇宙が		
utterly undiminished 何ら影響を受けずに[受けない]／ 全く損なわれることなく[ない]	1点	
by the light 光によって	1点	
we waste 私たちが無駄に[浪費]している	1点	the light を修飾する節であることが分かっていないものは不可

設問(4)

下線部④について、光の生物学的作用が鳥類に与える影響を日本語で簡潔に説明しなさい。

【下線部】

④Light is a powerful biological force, and on many species it acts as a magnet, a process being studied by researchers.

(④光は生物に強い影響力があり、多くの種に対して磁石のように作用し、その作用は現在研究者によって調査されている)

【解答例】 (12 点)

通常は鳴くことがない時間帯に鳴き、繁殖期は早まり、食事時間の増加と共に脂肪の蓄積が早くなるため、渡りの時期が早期化することで、移動先での巣作りに不都合が生ずる。

【該当箇所】

該当箇所 (第 5 段落第 1 ~ 6 文)

以下の必須項目に相当する内容に配分の得点を与える。 部分的に難がある場合は 1 箇所につき適宜 2 点とする。 余分な事柄が入っていても原則無視するが、解答を損ねる場合は適宜 2 点。	
必須項目	配点
「不自然な [=通常なら鳴くことのない] 時間帯に鳴く」 などに相当する内容があれば認める。	3 点
「(幅広い種において) 繁殖期が早くなる。」 に相当する内容があれば認める。	3 点
「餌を食べる時間が長くなる」 「渡りに必要な脂肪蓄積が早まる」 のどちらかに相当する内容があれば認める。	3 点
「渡りの時期が狂う [早まる]」 「巣作りがうまくいかない」 のどちらかに相当する内容があれば認める。	3 点
※軽微な 誤字・脱字は 1 つ - 1 点。	

設問(5)

下線部⑤のように言える理由を、本文の内容に即して、日本語でわかりやすく説明しなさい。

【下線部】

Unlike astronomers, most of us may not need an undiminished view of the night sky for our work, but ⑤like most other creatures we do need darkness.

(天文学者とは違い、大抵の人は仕事で完全な夜空を必要としないかもしれないが、⑤他のほとんどの生物と同様、人間も暗闇を必要とするのだ)

【解答例】 (16点)

暗闇は、人間の存在の根幹をなす目覚めと睡眠の周期にかかわる体内時計に不可欠であり、夜間を短縮すると光に対する人体の反応が狂い、乳がんとの関係が示唆されるように人間の健康を害するおそれがあるから。

【該当箇所】

暗闇は光そのものと同じくらい、人間の生物としての健康、つまり体内時計に不可欠なのである。生活における目覚めと睡眠の規則的周期は、地球上での光の規則的周期の生物学的表れに他ならない。このようなリズムは私たちの存在のまさに根幹をなすものであるため、それを変えることは重力を変えるようなものだ。過去100年ほどの間、私たちは自らに対し際限のない実験を行っており、昼間を延ばし、夜間を短縮し、光に対して人体が敏感に反応しないようにしてきた。明るい新世界がもたらした影響は、人間の繁栄の光を共有して生息する適応性の低い生物においては、より顕著に見て取れる。しかし人間にとっても、光害は生物学的問題をもたらす可能性がある。少なくとも最近の研究の1つは、女性の乳がん高発生率と近隣の夜間の明るさとの直接的な相関関係を示唆している。

- 1) 暗闇は、(光と同様)人間の生物としての健康 [=体内時計/=(人間の存在の根幹をなす)生活における目覚めと睡眠の規則的周期] に不可欠である。
- 2) 夜間を短縮することは、(光に対する人体の反応を狂わせ、)人間にも生物学的問題をもたらす可能性がある。※「生物学的問題」とは、乳がん発生率の具体例から「健康問題」のことだと読み取れる。

解答例	配点	備考
① 暗闇は、人間の存在の根幹をなす目覚めと睡眠の周期にかかわる体内時計に不可欠である	8点	暗闇は目覚めと眠りの周期 [体内時計] に必要。
② 夜間を短縮すると光に対する人体の反応が狂い、乳がんとの関係が示唆されるように人間の健康を害するおそれがある	8点	・夜が短く [昼が長く] になると健康を害する可能性がある。 ・「生物学的問題」は「健康を害す」または「(乳)がん」でよい。
※軽微な 誤字・脱字は1つ－1点。 ※その他、部分的に不適切な箇所は1箇所につき－2点。		

設問(6)

下線部⑥の意味を日本語で表しなさい。

【下線部】

In the end, humans are no less trapped by light pollution than the frogs in a pond near a brightly lit highway. Living in a glare of our own making, we have cut ourselves off from our natural and evolutionary heritages—the light of the stars and the rhythms of day and night.

【解答例】 (18点)

結局人間は、結局人間は、明るく照らされた幹線道路沿いの池のカエルと同様、光害に捕らえられている。自らが作り出した光の中に住み、自らを自然と進化上の遺産、すなわち星明かりと昼夜のリズムから切り離してしまった。

必須項目	配点	備考
In the end, 結局	1点	
humans are no less trapped by light pollution than ~ 人間も～と(全く)同じく光害に捕らえられている。	4点	*no less ~ than の解釈の誤りはこの区分-4点。 ・単語レベルの誤りは1つ-1点。
the frogs in a pond 池[沼]のカエル(と)	2点	・単語レベルの誤りは1つ-1点。
near a brightly lit highway 明るく照らされた幹線道路付近の	2点	・単語レベルの誤りは1つ-1点。
Living in ~ ～の中に住み[住んでいるので]	1点	
a glare 光[輝き, 明かり]	1点	
of our own making, 自らが作り出した	1点	
we have cut ourselves off from ~ 自分たちを～から切り離してしまった	1点	
our natural and evolutionary heritages 自然と進化上の遺産	2点	・単語レベルの誤りは1つ-1点。
— すなわち	1点	訳の有無は問わないが、ダッシュ以下が heritages (遺産) の言い換えだとわかっていないものは-1点。
the light of the stars (and) 星明かり (と)	1点	
the rhythms of day and night 昼夜のリズム	1点	
※文構造を把握できていない箇所は、関連部分をまとめて減点。		

III

【設問】

あなたは都会と田舎のどちらに住みたいです。またその理由は何ですか。70 語程度の英語で説明しなさい。

【解答例】 (50 点)

(解答例 1)

As a nature lover, I would like to live in the countryside. Since I was a child, I have loved to be surrounded by nature. In the countryside, the air and water are so clean that I feel refreshed. Also, the beautiful scenery makes me feel relaxed. Currently, I live in the hustle and bustle of the city. However, I would like to move to the countryside in the future. (70 words)

(解答例 2)

I would like to live in the city for two reasons. First, I like the convenience of city life. In the city, most shops are not only available within walking distance but also open until late at night. Second, I like the excitement of city life. In the city there are a lot of opportunities to experience new things and encounter new people. Therefore, I prefer city life to country life. (71 words)

【基準】

1. 語数・英語の正しさ

1. 語数

明らかに「70 語程度」と判断できない語数のものは 0 点。

2. 英語の正しさ

- ・スペリングミスは－1 点。ただし、ミスによって異なる単語になる場合は、
- ・冠詞・単複・動詞の語形など文法的誤り、内容に影響する語句レベルの誤りは－3 点。
- ・英文自体は文法的に合っているが、内容が論理的に破綻している場合は－5 点。

2. 内容面

- ・指定 (都会と田舎のどちらに住みたいか) とは全く異なる内容が書かれているものは、－50 点。
- ・指定された内容を書こうとしていることは判断できるが、主旨がずれてしまっているもの－10 点。
- ・理由として常識的に明らかにおかしいと判断されるものは、－10 点。
- ・文と文が論理的につながらないなどの内容面のミスは－5 点。

IV

【設問】

次の日本語の下線部(1)～(3)の意味を英語で表しなさい。

【下線部(1)】

その手の本が雨後の筍(たけのこ)のように出てくるということは、お金を儲けたいと思っている人が数多くいるということです。しかし裏を返せば、お金持ちになれない人のほうが遥(はる)かに多いということでもあります。

【解答例】 (20 点)

(解答例 1)

The fact that books of that kind are being released one after another means that so many people want to make more money. Ironically, however, it suggests that there are far more people who cannot become rich than those who can.

(解答例 2)

Considering the flood of books on the subject, you could see many people have a desire to be rich, but on the other hand, it means that few of them can become rich.

【基準】

以下の区分に分けて採点する。各部分の減点は、配点を超えないものとする。

区分	配点	備考
その手の本が	12	※区分中で部分的な表現に問題がある場合は、程度に応じて1箇所につき－2点または－4点を減点。
雨後の筍のように出てくる		
～ということは…ということです		
お金を儲けたいと思っている人が数多くいる		
しかし裏を返せば,	8	
お金持ちになれない人のほうが遥かに多い		
～ということでもあります		

●区分全体として意味が通らないものは、その区分0点(配分の点数を減点)。

軽微なスペルミス, 文頭の大文字の誤り, 文末のピリオドの欠落は1箇所につき－1点。

【下線部(2)】

人には物事を悲観的に考え、他人をねたむ悪い心のクセがつきがちです。そうすると、お金よりもっと大切なものも離れていきます。

【解答例】 (20 点)

(解答例 1)

People tend to have a bad habit of taking things pessimistically or feeling jealous of others, and end up losing what is more important than money.

(解答例 2)

You can easily get into a negative mindset that makes you pessimistic and envious. If it happens, you will not be able to gain something more valuable than money.

【基準】

以下の区分に分けて採点する。各部分の減点は、配点を超えないものとする。

区分	配点	備考
人には	10	※区分中で部分的な表現に問題がある場合は、程度に応じて1箇所につき－2点または－4点を減点。
物事を悲観的に考え、		
他人をねたむ		
悪い心のクセが		
つきがちです		
そうすると、	10	
お金よりもっと大切なもの(も)		
～も離れていきます		

●区分全体として意味が通らないものは、その区分0点(配分の点数を減点)。

軽微なスペルミス、文頭の大文字の誤り、文末のピリオドの欠落は1箇所につき－1点。

【下線部(3)】

でも1回や2回変えようとしたくらいでは、元に戻ってしまいます。ひとたび身についた習慣は、どんなに努力しても、取り除くのに多くの時間と労力が必要です。

【解答例】 (20点)

(解答例1)

However, if you try to change the habit once or twice, you will find it unchanged. Once you acquire a habit, no matter how hard you try, it takes a lot of time and effort to get rid of it.

(解答例2)

But one or two attempts would never help you change your negative way of thinking. However hard you may work, it requires a great deal of time and labor to get out of the habit you have acquired.

【基準】

以下の区分に分けて採点する。各部分の減点は、配点を超えないものとする。

区分	配点	備考
でも	8	※区分中で部分的な表現に問題がある場合は、程度に応じて1箇所につき－2点または－4点を減点。
1回や2回		
変えようとしたくらいでは、		
元に戻ってしまいます		
ひとたび身についた習慣は	12	
どんなに努力しても		
取り除くのに…が必要です		
多くの時間と労力		

●区分全体として意味が通らないものは、その区分0点(配分の点数を減点)。

軽微なスペルミス、文頭の大文字の誤り、文末のピリオドの欠落は1箇所につき－1点。

V

誤字脱字はすべて－1点。キーワードを含んでいても主旨そのものを誤っているものは0点。

設問(1)

水中ドローンの2つのタイプ, AUV と ROV はそれぞれどのようなものですか。

【解答例】(12点)

AUV は人間の制御なしで任務を遂行する自律型ドローンで, ROV は通常, 船舶にいる人間が遠隔操作するドローンである。

【該当箇所】

Basically, underwater drones can be divided into two types: autonomous underwater vehicles (AUVs) and remotely operated vehicles (ROVs). The former is rather like a robot, carrying out their missions without human control, while the latter is controlled by a human operator, who is usually on the ship that the ROV is connected to.

「基本的に、水中ドローンは2種類に分けられる。自律型無人潜水機（AUV）と遠隔操作探査機（ROV）である。前者はどちらかというロボットのようなもので、人間の制御なしで任務を遂行する。一方、後者は人間の操作者に制御され、操作者は通常 ROV が接続されている船舶に乗っている」

【基準】

必須項目	配点
次のそれぞれに6点ずつ配分。 ・ AUV (6点) … 「人が制御しない」 に相当する内容があればよい。 ・ ROV (6点) … 「人が制御する」 に相当する内容があればよい。 上記内容の誤りはそれぞれ0点。それ以外での部分的な誤りは適宜－2点。	12点

設問(2)

英文の内容に合うように、次の文の空所 (a) ~ (d) に入る日本語を答えなさい。

エネルギー企業は、より効率的に (a) を開発するために、インフラ企業は、インフラのサービスと安全性を維持するための (b) をより安全かつ (c) 行うために水中ドローンの利用を考えている。また、水中ドローンが収集する情報は、科学や経済などの分野で役立つ (d) の作製に利用することができる。

【解答例】 (3点×4=12点)

(a) 海底資源 (b) 定期点検 (c) 安価に [低コストで] (d) 海底地図

【該当箇所】

- (a) ... energy companies are looking to underwater drones for more efficient ways of developing undersea resources. 「エネルギー企業は、より効率的な海底資源の開発方法を求めて水中ドローンに目を向けている」
- (b) Routine inspections are essential to maintain their services and safety. 「それらのサービスと安全性を維持するためには、定期点検が欠かせない」
- (c) Underwater drones are expected to work more safely at low costs. 「水中ドローンは、より安全かつ低コストで作業すると期待されている」
- (d) Information underwater drones gather can be applied to seafloor mapping which is useful in scientific, economic, and strategic fields... 「水中ドローンが集める情報は海底地図の作製に利用でき、科学的、経済的、戦略的分野でも有益となる」

【基準】

次の英単語に相当するものを正解とする。

必須項目	配点
(a) undersea resources 「海底資源」 ※「資源」だけは0点。	3点
(b) Routine inspections 「(定期)点検/検査」 ※「定期」はなくてよい。	3点
(c) at low cost 「安価に/低コストで」	3点
(d) seafloor mapping 「海底地図」 ※「資源」だけは0点。 ※「海の地図、海図」は-1点。	3点
※表現にやや難がある場合は程度に応じて1, 2点減点。	

設問(3)

個人向けの水中ドローンを使うことによって、どのような人たちが、どのような装置のあるドローンで、どのようなことができるようになりますか。2 つ挙げなさい。

【解答例】 (12 点)

ダイバーたちは、カメラを搭載したドローンで、自分では行けない場所の写真や映像を撮れるようになる。釣り人たちは、魚の探知機と魚をおびき寄せる照明装置のあるドローンで、釣りの名人になれる [多くの魚を釣れるようになる]。

【該当箇所】

- ① With equipped cameras, divers can take pictures and movies of the places where they themselves cannot go. 「複数のカメラを搭載しており、ダイバーたちは自分では行けない場所の写真や動画を撮ることができる」
- ② Furthermore, underwater drones might completely change the fishing experience. A drone with a sonar system to detect fish and a luring lighting system will turn a poor fisherman into an excellent one! 「さらに、水中ドローンは魚釣りの経験を一変させてしまうだろう。魚を探知するソナーシステムと魚をおびき寄せる照明装置がついたドローンは、腕の悪い釣り人を釣りの名人に変えてしまうだろう！」

【基準】

必須項目	配点
<p>① 6 点 (2 点) 「どのような人たち」 → ダイバー (2 点) 「どのような装置」 → カメラを搭載 (2 点) 「どのようなことができるか」 → 自分で行けない場所の写真や動画の撮影</p> <p>② 6 点 (2 点) 「どのような人たち」 → 釣りをする人／釣りが下手な人 (2 点) 「どのような装置」 → 魚の探知機 [ソナーシステム] と魚をおびき寄せる照明装置 ※どちらか一方があれば認める。 (2 点) 「どのようなことができるか」 → 釣りの名人になる／魚を多く釣れる</p>	12 点
<p>※部分的な表現にやや難がある場合は適宜－2 点とする。</p>	

設問(4)

水中ドローンにはどのような技術的課題がありますか。2 つ挙げなさい。

【解答例】 (12 点)

深い場所での高い水圧に耐えられる設計と素材の開発。水中での無線データ通信技術の (送信距離や通信速度の) 向上。

【該当箇所】

- ① One of them is about the high pressure in the water. Underwater drones for shallow water are comparatively easy to build, but the further drones descend, the stronger pressure-resistant design and materials they need. 「その 1 つが水中での高い圧力に関するものである。浅水域向けの水中ドローンは比較的簡単に製造できるが、ドローンがより深く下降すればするほど、より高圧に耐えられる設計と素材が必要になる」
- ② Another difficult part is data communication. 「もう 1 つの課題はデータ通信である」
- ・ underwater wireless optical communication (水中での光無線通信)
 - ・ transmitting wireless signals (無線信号の送信)

【基準】

必須項目	配点
① 6 点 (2 点) 課題のくくり (具体的内容に含まれていればよい) the high pressure in the water 「(高い) 水圧」 (4 点) 具体的内容 the stronger pressure-resistant design and materials 「より高圧に耐えられる設計と素材」 ※ <u>より高い圧力に耐える</u> 必要があることを述べていればよい。	6 点
② 6 点 (2 点) 課題のくくり (具体的内容からわかればよい) data communication 「(データ) 通信」「交信」「データのやり取り」 ※ (人同士ではないので) 「コミュニケーション」や「意思疎通」は不可。 (4 点) 具体的内容 underwater wireless optical communication 「水中での光無線通信」 transmitting wireless signals 「無線信号の送信」 ※ 「水中」「無線」は必須。不足していれば各－2 点。	6 点
※部分的な表現にやや難がある場合は適宜－2 点とする。	

設問(5)

話者は最後に、私たちの心がけとしてどのような注意を促していますか。

【解答例】（12点）

水中ドローンの利用が、海洋生物とその環境に害を及ぼさない方法を常に考慮する必要がある。

【該当箇所】

This will lead to greater appreciation and awareness of the marine environment, but we should always consider how to prevent our use of underwater drones from harming marine life and the environment. 「このことは、海洋環境をより深く理解し認識を高めることにつながるだろうが、私たちは水中ドローンの利用が海洋生物とその環境に害を与えない方法を常に考慮しなければならない」

【基準】

必須項目（下線部分）	配点
<p>we should always consider how to prevent our use of underwater drones from harming marine life and the environment 「私たちは水中ドローンの利用が海洋生物とその環境に害を与えない方法を常に考慮しなければならない」</p> <p>※主旨があっているものについて、次のキーワードへの言及を各 3 点とし、部分的な欠如・誤りは該当の点数を減点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (3 点) underwater drones (水中ドローン) ・ (3 点) marine life (海洋生物) ・ (3 点) the environment (環境) ・ (3 点) harm (害する) ことがないようにする <p>※主旨そのものが違っている解答はキーワードを含んでいても 0 点。</p>	12 点
<p>※部分的な表現にやや難がある場合は適宜－2点とする。</p>	